別紙様式

意見交換会実施報告書

平成 30 年 12 月 19 日

登米市議会議長　及川　昌憲　　様

第１班　代表者　伊藤　　栄

１．意見交換会の概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td>平成 30 年 10 月 18 日　午後７時 00 分　～８時 30 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td>石越公民館（研修室１）</td></tr>
<tr><td colspan="2">出席議員</td><td>代表者：伊藤　　栄
司会者：曽根　充敏
報告者：氏家　英人、伊藤　吉浩
記録者：岩渕　正弘</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加市民数</td><td>20　人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>議会報告</td><td>・議会活動報告について
・財政状況について
　30 年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて
・常任委員会からの報告</td></tr>
<tr><td>意見交換</td><td>・『登米市の地域医療を考える』
　地域医療の現状と方向性を説明</td></tr>
</table>

２．市民の質問・意見等

<table>
<tr><td rowspan="4">会場で回答したもの・回答の必要がないもの</td><td>質　問</td><td>（医療）
１．累積欠損金が 150 億と膨大な借金をしているが本気になって改善、改革を考えなければならないのではないか。また一般会計（財政）に大きな影響があるのではないか。
⇒ 現在の 150 億円は借金ではなく欠損金である。退職金や公債費・減価償却費などを含んでおり、返済が必要な部分は一部である。

２．登米市民病院の新築が新聞に掲載されていた。新しい病院ができれば、大崎市民病院と同様に研修医が来ると勘違いしているのではないか。本当に建設できるのか。
⇒ 新聞の内容については、わたしたちも驚いた。具体的に踏み込んだ発言はないと認識している。

３．中核病院を目指すべきだが、阻害するのはなにか。
⇒ 県の構想で登米市は東部医療圏に属する。この構想の中で３次医療も担える病院として、大崎市民病院と石巻赤十字病院が指定され集約されている。現在、地域の中核病院は両病院である。

（教育）
４．パークゴルフ場条例はなぜ否決したのか。
⇒ さまざまな意見があったが、名称で地域への配慮が足りなかったのが大きいと感じている。</td></tr>
<tr><td>意　見</td><td>（医療）
１．登米市民病院は、総合病院に次ぐ医療を考えているように聞こえてくるが、常勤医師 18 名での医師不足状況で本当に経営できるのか疑問である。

２．市民病院が立ち直るのに３回も改善チャンスがあったが活かすことができなかった。

３．登米市民病院の経営を安定するための方法を検討するべき。

４．独立法人化を進める方向性を今後考えていった方がいい（プライマリーバランスが良好）。

５．今までは医師派遣のお願いをすれば、ある程度希望がかなった。現在は、基幹型臨床研修医病院制度指定病院でないと、希望しても勤務できない制度になっている。厳しい状況だが早めに研修指定病院の資格を得るのが最善だ。

６．常勤医師は 42 名から 18 名になり、退職する医師が多くなっているので早急に対策をとるべきだ。</td></tr>
<tr><td>要　望</td><td>（医療）
１．基幹型臨床研修医病院制度は、市民、議員、病院（三位一体）となることが大切。市議が立ち上がれ。</td></tr>
<tr><td>提　言</td><td>（医療）
１．若柳病院は午前中に診療し、午後から院内診療と訪問診療により黒字経営になっているので、参考にしてはどうか。</td></tr>
</table>

会場で回答していないもの	質　問	（医療） １．津山診療所、登米診療所が休診になった。小さなことより、今後の登米市の病院を市長、議会はどのように考えて市民に伝えていくのか。
	要　望	（住民自治） １．公民館の指定管理の金額に不平等が発生している（資料添付）。議会としても検討してほしい。 ⇒内容については承知した。
	提　言	（医療） １．地域医療特別委員会を議会に設置して、真剣に病院改革をしていただきたい。
その他 特記事項		